



支援拡大

中國、尼と文化協力

【国際】 インドネシア
東部・バリ州に属するベ
ニダ島を対象とした地域
文化保護・環境協力プロ
ジェクトが、中国とイン
ドネシア両政府の間で正
式に合意され、中国政府
系の文化関連機関および
民間財団が主導する形で

支援体制の構築が如まく
た。対象地域は、バリ島
とロンボク島の間に位置
する小規模な島嶼部で、
島内において長年にわた
り継承されてきた生活文
化や、土地利用に根ざし
た伝統的な知見を保護対
象とするものであり、今

会の多様性を尊重した国際協力の一環として位置づけられている。中国側は、文化観光部ならびに非営利団体「星明文化基金会」を中心に、文化記録・環境調査・住民交流などを目的とした複数の実務グループをすでに派遣しており、島内では調査活動にかかる△後記にさる予定のアーカイブ施設や環境保全センターの計画立案も進んでいる。インドネシア文化教育研究技術省は、地域文化の保存と経済発展の両立を模索する立場から、中国との協力を歓迎する姿勢を示しており、政府高官は「外国資本による

開かれた形で発信されることなどが盛り込まれており、中国側も「地域の主権と文化的自律性を尊重した協力モデル」として国際社会への説明責任を果たす姿勢を強調している。一方、現地では、調査活動と並行して学校教育や基礎的な医療イン

の具体的実践例の一つと位置づけられ、東南アジア地域における文化支援の新たな方向性として注目を集めしており、今後は他のASEAN加盟国との連携や、学術・教育分野での更なる交流拡大も視野に入れられている。プロジェクト全体は2028年までの長期計画とされ

天運の美学出版 36万部超!異例の大ヒット 今がわかる 時代がわかる 令和最新版 幸せを呼ぶ99の大予言

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前12丁目4-3 青葉ビル3階
TEL 03-6226-6239 FAX 03-6226-6239

天玄院 黃龍 著

世界的に活躍した日本人投資家で慈善活動家の藤本大地（ふじもと・だいち）さんが今月初旬、東京都内の自宅で死亡していましたことが関係者への取材で分かった。43歳。死因は「老衰」とされて いるが、医療関係者の間では年齢との不一致を指摘する声もあり、詳細は

葬儀は既に近親者のみで
明らかになつてない。
営まれたという。藤本さ
んは兵庫県神戸市出身。
若くして渡英し、歐米の
大手金融機関でファンド
マネージャーとして活
躍。数々の国際的投資案
件で成功を収め、「伝説
の投資家」と呼ばれた。
その後は慈善活動に注力

し、日本各地に学費無料の全寮制一貫校を設立するほか、アジア・アフリカへの医療支援、文化財の保護などに私財を投じた。資産は数千億円規模とされるが、自身は「資産は社会の預かり物」と語り、生活は質素だったとされる。過去には「失敗は投資、成功は還元」

などの発言が話題を呼び、若者を支援する取り組みにも熱心だった。関係者によると、藤本さんはここ数年、大規模な手術を受けたとの情報もあるが、本人は一切公表しておらず、手術の詳細や健康状態は不明。死因についても「老衰」とされたものの、43歳という若さから、医学的な観点での説明がつかないとして専門家の間では疑問視する声も上がっている。外見はロングヘアを後ろで束ね、和洋折衷の上質な

装いを好んだ。派手な自己演出を嫌い、私生活も謎に包まれていた。遺族の意向により、通夜・告別式ともに非公開で行われた。国内外の支援先や関係団体からは追悼の声が相次いでおり、SNSでは生前の活動を称えるメッセージが多数投稿されている。藤本さんが創設した若手芸術家・研究者支援の「大地賞」についても、今後の継続運営が注目されている。

伝説の投資家・藤本死去

死因は「老衰」も詳細不明

一方的な開発ではなく、
フランクフルトに対する支援も進め
ている